

3月 HAPPY BIRTHDAY

下地徳子さん（61歳） みやこ学園園芸班



みんなに優しく接してくれる徳子さん。何時も有難うございます。他班のお手伝いも頑張っており「助かっています」との声も聞かれていますよ。今年一年健康に気をつけて、笑顔を沢山見せて下さいね。

生活支援員 前泊淳子

砂川みゆきさん（35歳） アダナス成型班

アダナス成形班に所属しているみゆきさんです。色々不安はあると思いますが、みゆきさんのペースで「やってみる」ことから、安心した毎日が過ごせるように一緒に考えて行きましょう。みゆきさんの事を気にかけてくれる人は沢山いますよ。お誕生日おめでとうございます。

工賃達成指導員 上地美奈子



ナイスハートバザール in 宮古島 大盛況！

野菜ランドみやこ 職業指導員 長浜慶

2月18日（土）に開催された、第7回ナイスハートバザールイン宮古島に参加し、みやこ学園園芸班の草花、室内班の手工芸品、アダナスパン、生活介護事業所の手工芸品、野菜ランドみやこのミックス野菜、それぞれの事業所の利用者みなさんが、毎日丹精込めて作った商品を販売しました。今年は天候にも少し恵まれて、沢山の皆様に来て頂き、ほぼ完売することが出来ました。普段なかなかお客様と対面して販売する事が少ないのでこの機会を利用し、利用者さん数名に販売員として呼び込みから、商品の説明、会計を経験してもらいました。なかなか上手いかずに、お客様にご迷惑をかけてしまった面も見られましたが、お客様に温かく接して頂いたお陰で、利用者さん達にとっても貴重な経験が出来たと思います。イベントを主催して頂いた琉球銀行をはじめ、沖縄県セルフセンター、関係者の皆様ありがとうございました。



三線クラブ閉校式

2月1日（水）、三味線クラブの閉校式が行われました。5月から約10ヶ月12回のレク活動で、始めは三味線を持つだけでも緊張していたメンバーでしたが、練習を重ねるごとに音出しも上手になり、レク活動にも楽しんで参加する姿が見られていました。閉校式では、レク活動を快く引き受けてくださったジロー三味線教室の砂川次郎さんから修了書と景品を頂き、とても嬉しそうに受け取っていました。閉校式の最後は、講師のお二方とメンバー達みなで三味線や太鼓の音に合わせて歌ったり踊ったりして楽しみました。参加したメンバー達からも、「楽しかったので来年もやりたい」などの声も聞かれました。10ヶ月間、楽しみながらレク活動を行ってくれた講師のお二方に感謝しております。ありがとうございました。

みやこ学園 就労支援員 謝敷豊彦



先生ありがとうございました！

チョコレート♥寄贈ありがとうございます！

令和5年2月14日（火）に、みやこ学園出向班下里啓さんのご家族様、アダナス勝連一基さんのご家族様よりチョコレートの寄贈を頂きました。頂いたチョコレートは、皆で美味しくいただきました。ありがとうございます。



下里啓さん 勝連一基さん

求人募集

①職員兼機能訓練指導員

勤務時間／8：30～17：15 給与：時給900円
（前年度実績で処遇改善手当15万円支給）
必須条件：看護師資格（資格手当1万円支給）

②生活支援員 ③世話人

勤務時間／8：30～17：15 ③シフト制（短時間でもOK）
給与：時給900円
（前年度実績で処遇改善手当15万円支給）

④職業指導員

勤務時間／8：30～17：15 給与：月給15万円
（前年度実績で処遇改善手当含む賞与50万円支給）

詳しくは電話連絡の上履歴書持参にて面談下さい。
社会福祉法人みやこ福祉会 ☎73-7770 担当：與那城



令和 5年 3月

Mail : miya-gaku@cronos.ocn.ne.jp

学園だより 第258号



社会福祉法人 みやこ福祉会

みやこ学園・相談支援事業所みやこ
アダナス・レストラン太平山
野菜ランドみやこ・メロンランドみやこ
グループホームみやこ・グループホームとも
生活介護事業所みやこ
障害者就業・生活支援センターみやこ

祝「ノウフク・アワード2022」チャレンジ賞受賞



理事長 伊志嶺博司

ノウフク・アワード2022において全国180を超える応募の中から23団体が受賞し当法人も宮古島で初となるチャレンジ賞を受賞しました。ノウフク・アワードとはノウ（農林水産業）×フク（人、福祉）が連携することで持続可能な共生社会を産出す取組のことで、農水省と関係団体などが連携して設立した農福連携等応援コンソーシアムが主催し取組団体を表彰しております。今回の受賞は、「野菜ランドみやこ」で障害を持つ方々が葉野菜の栽培に取組み地域へ安定供給している面や障害者の新たな活躍の場や地域交流の場として設置した「レストラン太平山」でその野菜を提供している面が大きく評価され、また野菜の生産過程でもLED照明・ソーラーパネル設置などの再生可能エネルギーを活用しコスト削減に取り組んでいる面も評価の対象となりました。今回の受賞で障害を持っている従業員や職員の日々仕事に取り組んでいることが高く評価され皆の大きな励みとなり心から感謝しています。今後も障害者や家族が益々仕事を通して生き甲斐を持ち人生を謳歌出来る環境に寄与して行けるよう皆で協力し取組んでいきます。



農林水産省から表彰
宮古島の社会福祉法人
「みやこ福祉会」

～ 3月 行事予定 ～

10日（金）工賃支給日

21日（土）春分の日



～ 生活介護事業所みやこレクリエーション日程表～

3月 8日（水） 動作法 場所：腰原公民館

3月 15日（水） 日本舞踊 場所：西川日舞教室

3月 22日（水） 3B体操 場所：腰原公民館

職員研修「スキルアップを考える～虐待防止の視点から～」

障害者就業・生活支援センターみやこ所長 神里裕丈

今回の職員研修は「沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修事業」により、沖縄県社会福祉士会 成年後見・権利擁護委員でもあります、社会福祉士 平良純子氏にご講義いただきました。講義では、「虐待かな？」を発見した時には「疑問は相談する」「見逃さない」「改善する」ことを学び、グループワークでは「意見を交わす」「コミュニケーションを図る」「互いの役割の認識」を体験しながら学び、全体的に「虐待が生まれない組織づくりが大切」「そのためには風通しの良いコミュニケーションが大切」とそれを作り続けることが重要であることを学びました。平良氏には、職員研修の前の時間にも「介護労働安定センター 専門家による無料相談」の活用で、人材育成の観点から「虐待を考える」として、職員からの相談を聞くだけではなく、課題解決として検討とフィードバック、改善が必要だと学びました。



講師：オフィスJキャリア 平良 純子氏

第3回在職者勉強会学習会

障害者就業・生活支援センターみやこ 就業支援員 豊見山拓也

今回も当センター対象の方向けにオフィスJキャリア代表の平良純子氏を招き、情報カードを使いながら作品を完成させるグループワーク学習を行いました。学習会では、「楽しく活動しながら一人一人が自分の持っている情報を正確に伝え、正しく聴く事の重要性、お互いに協力しあって課題解決にあたり、グループ内での自分の役割に気付き、情報の提供と整理の大切さについて学ぶ」を狙いとして行いました。学習会を通して「協力して作品を作るっていいな」「ゆっくり相手の話を聴くのは大切だな」「仕事をしていても伝える、聴くって大切なことだよ」等の意見もあって有意義な学習会となりました。



全障協九州・沖縄ブロック会議

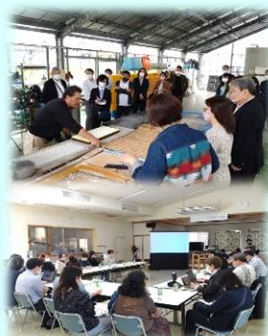
理事長 伊志嶺博司

2月3日に全国障害者雇用事業所協会「九州・沖縄ブロック会議」が、宮古島市で開催されました。コロナの影響で3年ぶりの開催との事です。同協会は全国7ブロックで構成され、障害のある方を多数雇用している事業所が集まった団体です。北海道から沖縄までの334企業が加盟しています。会議の前にみやこ福祉会の運営している野菜ランドみやこやパン工房アダナス・レストラン太平山等を視察した後、宮古島市長を表敬訪問し、栗原敏郎会長より座喜味市長へ宮古島でブロック会議が開催できた事に感謝と全国で障害者雇用の取組などを説明しました。又、会議では栗原会長が冒頭でみやこ福祉会の取組について近年農業と福祉の連携が重要視され「農福連携」が脚光を浴びる前から実践しているパイオニアで経営感覚も素晴らしいとお言葉を頂きました。今後も障がい者の方々の日々楽しく仕事に取り組んで行けるように運営して行きたい。



パワーアップフォーラム沖縄実行委員会視察・実行委員会

「パワーアップフォーラム沖縄」は、障がい者の働く場の活性化のためヤマト福祉財団後援で活動しております。当法人もトークイベントや出店イベントに参加させていただきました。今回実行委員会の方々が離島事業所視察も含め今後の活動を協議しました。その中では生産物の特徴やストーリーをどうPRしていくのかを中心に活発な意見がでて共通課題のもと今後の連携強化が図られました。これからも「障がいある方々の働く場づくり」のため協力していきます！



みやこ学園職員研修 ～成年後見制度講座～

庶務課長 與那城要

2月1日（水）に支援技術向上のため、みやこ学園職員を対象に成年後見制度講座を開催しました。講師に宮古島市社会福祉協議会 成年後見支援センター漢那 林課長、垣花専門員、濱元専門員の3名を迎え、制度の対象者、利用までの流れや後見人の業務など実際の事例を交え分かりやすくご説明いただきました。

みやこ学園も開所より20年を経過し、これからの支援についての相談が多く寄せられるようになりました。特に多かったのが親なき後の支援、保護者がいない方の支援を誰が中心的に支えていくのかという相談でした。成年後見制度は本人の状況、状態を鑑み裁判所が、誰がどの範囲で支援を行うか決定していきます。とても安心できる反面、本人の気持ちを上手く反映できない面もあり利用はよく検討が必要だと感じました。講座では、職員より支援の中で感じていた疑問など具体的な質問が多く出て、とても有意義な講座となりました。今回学んだことを踏まえ実践の中で役立てるように取り組んでいきたいと思ひます。講師を務めました、

成年後見支援センターの皆様ありがとうございました！



研修の様子



第37回 宮古島トライアスロン大会へ向けてのテレビ取材

みやこ学園 就労支援員 謝敷豊彦

4月16日（日）に行われる、第37回トライアスロンに向け、園芸班でもフラワーボード用・プランター用、合わせて約9千本の草花の生育を行っています。そこで、2月14日（火）に宮古テレビから取材を受けました。取材では、園芸班の日頃の作業風景やメンバーへのトライアスロンに向けて、どのような思いで草花を生育しているかなどのインタビューも受けました。2月16日（木）には夕方のニュースライナーで放送がありました。本番に向け、残り僅かですが、3年ぶりに開催ということもあり、園芸班のメンバーもやる気満々なので、本番に華やか草花で選手が気持ちよく走れるよう、準備していきたいと思ひます。



宮古テレビの取材。さんちょう～！

フードバンクんまんま様 寄贈に感謝です！

飲み物や栄養ドリンクをいただきました。フードバンク様いつもありがとうございます。



与那原寿香子さん「イモ収穫」

「GHとも」で大事に育てている寿香子さんのさつまいもが実り、収穫祭をし、生活介護のみなさんに「みんなで食べようね」と持って来てくれました。調理実習で、「いも天」作って食べま～す。楽しみ～。



生活介護みやこ節分豆まき

